

採用年度	平成 28 年度
お名前	平 義隆
派遣期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日
領域/分科/細目	数物系科学/量子ビーム科学/量子ビーム科学
派遣国	米国
受入機関名	Mississippi State University
受入機関部局名	Department of Physics & Astronomy
研究概要	本研究は、軌道角運動量を運ぶガンマ線源を開発し、素粒子や原子核、物性などの研究分野における新たなビーム源としての応用開拓を行うことを目的としている。現在は、未だ明らかになっていないガンマ線の軌道角運動量や空間分布などの特性を計算によって明らかにすることや、軌道角運動量を運ぶハイパワーレーザーの開発などを行っている。
派遣前の準備についてのアドバイス	最初にすべきはパスポートの有効期限が少なければ更新。次に受入機関に DS-2019 の発行をお願いします。これが最も時間がかかり、私の場合 2 ヶ月かかった。これが手元に来れば VISA(J1) の申請を行える。申請はアメリカ大使館のホームページから行う。必要な書類や申請の仕方はホームページに詳しく載っているのでその通りに進めれば問題は無いはず。ただし、必要な書類や入力すべき情報は多い。申請時に必要な写真は、条件を満たすように自分で撮影し画像編集ソフトでサイズを調整した写真で何も問題無かった。VISA 申請時に作成した写真が要件を満たすか確認できる。日本の銀行口座から渡航後に開設した口座に送金する場合、私が口座を持っている銀行は海外在住者がネットバンキングを利用するのに渡航前の申請が必要だった。ただし、既に開設している外国口座や渡航後に口座を開設してから 1 回目の送金を希望する場合は JSPS から直接送金される。
派遣中に問題になりうることについてのアドバイス	アメリカは銃社会。銃撃事件は至る所で頻繁に起きている。先日も自宅から徒歩 5 分の場所で銃撃事件があった。暗くなったら出かけないなど最低限の安全に対する配慮はしているが、巻き込まれませんようにと祈るしかない。もう一つの不安の種は医療費。海外旅行保険に加入しているが、治療にかかる費用は一旦自分で支払わなければならない(都会の病院では保険会社が直接支払ってくれる病院もあるが、田舎に該当する病院はない)。自分では支払いきれない高額な医療費がかかる病気や怪我をしたらどうしようか不安だが、これもそんなことにならないよう祈るしかない。また、海外旅行保険や現地の大学が斡旋する保険料の低い保険は分娩費用や妊婦健診費用がカバーされないことが多い。妊娠、出産の予定がある人や配偶者を帯同する場合は事前に大学に聞いたりして調べておいた方が良い。Social Security Number は J1 の場合問題なく取れるが入国日から 10 日以降に申請しなければならない。
派遣先での生活の様子	アメリカの住宅は日本に比べて過ごしやすい。洗濯乾燥機、冷蔵庫、電子レンジ、食器洗浄機、エアコンは最初から部屋に付いている。住んでいる Virginia 州 Newport News の家賃相場は \$1,000~\$1,200/月くらい。日本企業の海外支社があり、米軍人の配偶者も多数いるので日本食を扱っているスーパーが何箇所もある。そのため日本食に不自由はしない。日本に比べて約 2 倍の値段で販売されている。日本食に限らずアメリカの物価は総じて高く感じる。
海外特別研究員に採用されて良かったこと	一言で言えば感謝しかない。アメリカの滞在先には雇われていないので雑務がある訳もなく、研究のみに没頭できる環境がこんなにも素晴らしいのかと感激しながら日々を過ごすことができている。また、アメリカに来て気づいた事は、もっと早く外国に来るべきだったと思った。若いうちに外国に来た方が、海外特別研究員終了後のキャリアパスを幅広い選択肢の中から選べると考えられるためである。